



平成 30 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 中央ビルト工業株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 西本 安秀
(コード：1971、東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長 石井 裕
(TEL. 03-3661-9631)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 5 月 18 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

● 業績予想の修正について

1. 平成 31 年 3 月期 通期業績予想数値の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	6,736	294	242	139	59.07
今 回 修 正 予 想 (B)	6,512	187	148	91	38.67
増 減 額 (B - A)	△224	△107	△94	△48	
増 減 率 (%)	△3.3	△36.4	△38.8	△34.5	
(参 考) 前 期 実 績 (平成 30 年 3 月期)	5,885	△107	△115	△99	△42.49

2. 修正の理由

利益面について期首予想を大幅に下回る見通しとなりましたので業績予想を変更いたします。

理由といたしましては、仮設機材事業、とりわけ利益率の期待された賃貸の売上高が大幅に落ち込んだことに加え、名古屋工場の抜本的な体質改善を行うにあたり操業を一時的に停止したため製造高が伸びず、改善に伴う追加コストの発生により原価差額が大幅に悪化したため、計画を大きく下回る見通しとなりました。なお住宅鉄骨事業については計画を上回る見通しです。

第 3 四半期以降の業績につきましては、製品供給の安定化や賃貸機材の稼働率上昇により売上高と損益の改善を見込んでおります。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上